

# のうきょう ちゃんぽん

'91 5 No.197



ストックフォー  
1500  
11-000

シリーズ 私の趣味 No.42

お金の儲かる経営に

コミュニティコラム みんな・なかま

営農技術 牛乳生産の安定に向けて

●北根室地区農業改良普及所

生産性の向上により所得の確保を

●北根室地区農業改良普及所

わが家の人気者

こいのぼりに負けず元氣いっぱい

21世紀に向けての展望①

農協、農業技術革新の時代へ

●佐々木政行

同志会創立20周年にふさわしいB&Wシヨウ

第四回スプリングスクール／乳牛審査講習会

乳牛改良同志会視察研修支部報告

第四十三回青年部総会

理事会の経過／第三十二回婦人部総会

暮らしの知恵袋

自家野菜を上手に作りましょう

●北根室地区農業改良普及所

今月のフォトアルバム

●長測 重樹

3 4 6 8 10 11 12 13 14 16 17 18 20



トマトの野生種は直径二〜三センチほどのミニサイズ、その規模にあたるのが、ミニトマトです。チエリー系、ベテイ系、ペア系などの種類がありますが、人気のトマトは果物なみに糖度の高いチエリー系

ヨーロッパには「トマトが赤くなる」と医者が青くなる」ということわざがあります。見るからに健康的なトマト。栄養成分も、カロチン、ビタミンC、カルシウム、鉄分のほか脂肪の消化を助けるビタミンB6、血圧を下げる働きのあるルチンなど、実に多彩である。

# お金の儲かる経営に

パソコンを始めたのは今から三年前、ちょうど青年部の部長をやっている頃で、人前に自分の上手な字？を見せたくなくてやりだしたワープロ。これがきっかけとなり、今では昨年建設したフリースタイル牛舎の「フィードステーション」（自動給餌機）のコンピュー

ターと、自分のパソコンを連動させ餌の給与計算、繁殖管理と経営部門にまで発展した。パソコンに向かうと時間を忘れ、時にはパソコンと一語に一夜を過ごす時も多々あるそうです。パソコンのおもしろい所はと聞くと、「自分の思い通りの事が画面

## 私の趣味

42

協和 長瀬 重樹さん(37歳)



仕事も趣味にも  
精一杯!!



に写し出されるのが最高、それと無限の可能性があるから」と話す長瀬さん。

さっそくパソコンのスイッチを入れ腕前を披露、根室生産連のパソコン通信「モーモーターネットワーク」を接続、情報の内容や仕組みを説明してくれました。

経営を譲り受けて三年目。「二年間夢中でやって来たけど、あまり良い結果にならなかった。これからはパソコンを経営に活用し、金の儲かる経営にしたい」と話しておりました。

色々な話しをしているうちに、

棚で見つけたのがラジオコンの送信機、ラジオコンは三年前から始めたそう、最初は電動カー、それからエンジン付バギー、今では飛行機も飛ばすそうです。「最近では忙がしくて、なかなか飛ばす暇がなくてね」との事ですが、将来子供



たちが大きくなった時に、親子でラジオコンを飛ばすのを楽しみにしているとか？

酪農、畑作の兼業、そしてマリンスクラブの構成員、ほんとうに忙しい毎日のようですが、その中で精一杯自分の趣味に打ち込む重樹さんです。

# なかま

仲間・はなし



## 旅と私の北海道

豊岡 秋葉 茂雄  
(佐藤永雄宅実習生)

私は神奈川県出身の実習生である。自称あぶない実習生だ？または、歩くみどりの窓口？趣味は旅行と釣り、その他盛沢山。

特に旅行は実習期間中でも、何だかんだ理由つけてふらふらと行ってしまっお調子者だ！！

北は礼文島から、南は波照間島（沖繩）と、日本はすべて行った。しかし島国JAPAN離島が多い。まだ二百近くしか行ってない、後二百五十近くある。まっそのうち完全制覇するつもりだ。

足は鉄道が殆ど。駅長から国鉄（JR）全線制覇したツゝ事で表彰もされ、新聞にも写真入りで載った。

鉄道は便利だ、特に道内旅行する時は鉄道に限る。周遊券を利用すれば二十泊しても五〜六万円で旅行できる。勿論今でもできる。但

し食事は二食、かけそば（天ぷらもつけていい）、寝泊りは夜行列車、または旭川駅（二十四時間開いている道内で唯一の駅）で泊る事になる！！

函館—札幌—稚内—旭川—網走—釧路—札幌—稚内と夜行で着き夜行で発つのは繰り返し、そのうち車掌さんや、駅そばのおばちゃん顔馴染みになる！！

昔はよくこんな旅行してたが、今

じゃBOEING737、767で機中の人になり、アツと言う間に着く。飛行機は便利だが少々高くつく。

でも去年沖繩へ行く時、名古屋から乗ったが、二百三十四人乗りの飛行機に乗客三十五人（三十人は団体）前方に五人、後方に三十人、私は一番前にいた。マニユアル以外のサービスの他に、ケーキやフライト中のコックピットも見ることができた。毎回こんなフライトだと安く思うんだが……。

そもそも私が北海道に住んでみたいと思ったのも、旅行中に見た光景に感動してしまったからである。

旭川から稚内へ行く時、途中、美深駅で停車していた時、八月なのに家の煙突から煙がでていて家の明りがランプで、どんな生活しているのかな〜と思ひ、いつかは住んでみたいと思った十三歳の夏の出来事であった。

今は明日の事もわからず、今日一日をのんびり？過ごす毎日である。



# みんな、

仲間・はなし



## 先の見通せる 政策を！

俣落 板橋 松寿

乳価の春、そして統一地方選は終わったが、私たち牛飼いにとっては依然暗い不安のトンネルをくぐり抜け得てない。強まる農業国際化、自由化の流れにどう対処していけばよいのか、目標をどこに置けばいいのか――。

農閑期とはいえ、この冬は以前のようにのんびりとはいかなかった。「消費拡大」を目指す良質乳の生産へ、一段と厳しいペラルテイーを自らに課して生産管理に取り組んできたのが実情だ。各種研究会への参加、営農計画の見直しなど、仲間同士の情報交換をしなから懸命の努力をしてきた。

しかし実態は雄子牛の市場価格が一昨年の半値を割り、廃用牛も十万円以下という相場にある。今乳価も前年比一・三%の下げ、ここ数年すべての農産物価格は下降

線をたどりつばなしだ。なのに商店に並ぶ乳製品や肉の小売値は、そう下がっていない。なぜ。この先いつたいていどうなっていくのか、不安といらだちは募るばかりだ。

生き残りの努力に、血を流すことをいとっているのではない。当地域は開拓七十五年の歴史がある。経営困難な低乳価に、投棄をもつて抗議するという苦しい戦いを経ながら、今日の基盤を築き上げてきた意地と力がある。そして再びこの苦境の時代を迎え、これまで以上の真剣な自助努力が求められているのは自覚しているし、その競争を経て、さらに足腰の強い経営体をつくっていくかなければならないと考えている。

しかし問題は、どこまで自由化しようとするのか、最低守るべき自給率は考えているのか、政府のこの先のビジョンがまったく見えないことだ。確かに高品質乳の確保対策など諸施策が出てきたが、対症療法的なものにすぎず、これでは何を努力目標にし、生活の夢を描いたらいいのか分からない。



かつての苦しい時代を知らない若者たちには、なおさらのことだ。せめて、努力は報われるのだという百年を見通した政策を示すべきと思う。(北海道新聞掲載から)

# 牛乳生産の安定に向けて

昨年の個体販売価格の下落は、そのまま所得の目減りとなって現われてしまいました。これは、今日までの酪農経営の弱点であった、

個体販売への依存体質の結果とも言えます。確かに経営戦略としての個体販売部門の充実強化は、重要な課題ではありますが、やはり基本は牛乳生産部門であることを忘れてはなりません。

「乳代で総ての経営費を賄う」、これが酪農経営の一つの目標となります。組勘取引において、計画と実績の間に大きな差が生じる項目は乳代と飼料費であり、その差の大きさが、年度末実績となっているのが現状のようです。安定した酪農経営のためには、牛乳生産の安定が必須の条件であり、その

ためには自給飼料生産・乳牛飼養管理はどうあるべきか、再度見直していかねばなりません。

## 一、飼料給与計画に基づく自給飼料生産（量・質の安定）

近年、草地更新の進展、適期収獲の推進などにより、粗飼料栄養価の向上は図られているものの、反面それを十分に生かし切れていない状況も多く見受けられます。

例えば、品質の変化への対応不足や遅れ、一時的な粗飼料の急変や不足、粗飼料構成の片寄りなどによる牛群全体のコンディションの変調、代謝障害の発生が上げられます。

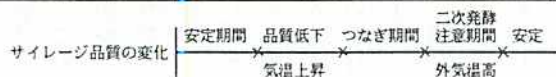
これからの自給飼料生産はただ単に量・質を確保するだけでなく、年間を通じて量的・質的に安定し

た粗飼料を供給できる体制、飼料給与計画に基づいた収穫調整が望まれます。

特にサイレージの品質は均一ではなく、収穫時期・ほ場などにより大きく変化します。表一はサイレージを中心とした飼料給与計画の一例です。給与時期のサイレ

表一 年間飼料給与計画

飼料	番草	区分	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	日数	日量	総必要量
放牧	-	-													140	20	2,800
乾草	-	-													365	3	1,095
牧草 サイレージ	1	97-40													212	30	6,360
		ハシカ-													61	30	1,830
	0-5													62	25	1,550	
	2	0-5												243	10	2,430	
														30	20	600	



## 知っておきたい

### 税の知識

#### 税務署の処分に

#### 不服があるとき

税務署に申告した所得や税額が少なかったり、確定申告をしなければならぬ人が申告をしなかったときには、税務署長は調査した結果に基づき更正、又は決定の処分をします。

この更正や決定あるいは財産の差し押えなどの処分を受けたことにより、納税者の権利や利益が不当に損なわれることのないように不服申立制度が設けられています。

この不服申立ての手続きには、税務署長に対する「異議申立て」と国税不服審判所長に対する、「審査請求」とがあります。

#### ◎異議申立て

税務署長が行なった更正や決定あるいは財産の差し押えなどの処分不服があるときは、その処分の通知を受けた日の翌日から二ヶ月以内に、税務署長に対

## 共計でん粉



平成二年産共計でん粉の販売状況は、三月末仮配分累計一袋（二十五kg）一、五四九円（前年同期九八一円）単価による進捗率は、一五七・九%と例年になく好調に推移しています。

また、価格は産地倉渡し三、一七五円（三、三二五円（前年同期三、一五〇円）東

京倉渡し、三、四〇〇円（三、二五〇円）と今のところ前年より若干高値で販売されておりあります。

なお、馬鈴しよでん粉と競合するコーンスターチは、一、九五〇円（前年同期一、八七五円）となっております。

一、品質に影響する条件を考慮した中で、検討が必要で。

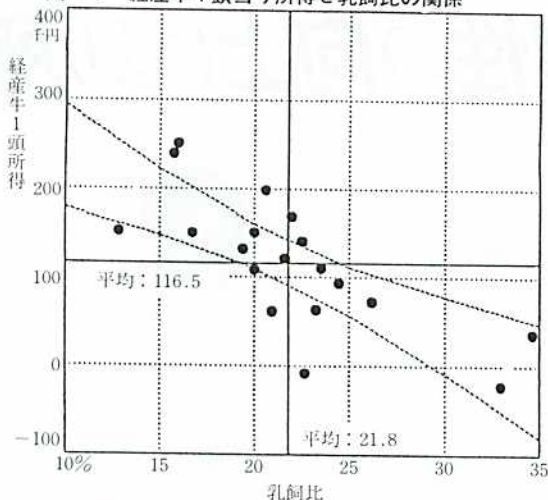
二、個体別の飼料給与をどう実践して行くか

図一は経産牛一頭当り所得と乳飼比の関係を見たものです。明らかに、収益性の低い経営では乳飼比が高い傾向にあり、乳飼比の改善が収益性の向上に結び付くことが示唆されています。しかし、乳飼比の改善は単純に飼料費を下げることではありません。効率的な飼料給与の実践、粗飼料の量質の改善により、ムタな給与を少なくし、必要栄養量をいかに充足させ、能力を發揮させるかの総合的改善の最終結果と言えます。

飼料計算は飼料給与改善の基本ですが、その結果をどう日常の飼料給与作業の中に組み入れ、実践して行くかが求められています。

作業の流れ、牛の流れの中でいつ、どこで給与するか。一頭一頭の明確な区分をどう行なうか。限られた労働力の中でどう省力化するか。そのためには何が必要かなど、実践のための条件整

図一 経産牛1頭当り所得と乳飼比の関係



(中標津町経営研究会、H11. 原価分析結果より)

備も考えていかなければなりません。

して「異議申立て」をすることができず、異議申立てができません。税務署では担当者を代えて再度調査を行ない、その結果を納税者に通知します。これを「異議決定」といいます。

### ◎ 審査請求

税務署長の「異議決定」を経た後に、なお不服があるときは、その決定の通知を受けた日の翌日から一ヶ月以内に国税不服審判長に対して、「審査請求」をすることができず、審査請求が出されず、国税不服審判所では三人以上の国税審判官の合議によって、納税者と税務署長のどちらの主張が正しいか慎重に審理して議決します。

この議決に基づいて、国税不服審判所長が裁決をし、その結果を納税者と税務署長の双方に通知します。

国税不服審判所長の裁決を経た後に、なお不服があるときや審査請求をした日の翌日から三ヶ月以内に裁決の通知がないときは、さらに裁判所に訴訟を提起することができます。

# 中標津町農協第44回通常総会



## 第44回 通常総会開催

# 生産性の向上により所得の確保を

第四十四回通常総会が去る五月二日午前、寿宴において正組合員二百九十二人（本人二百十八人、代理七十四人）の出席により開催されました。

児玉組合長より最近の農業情勢、農協運営の経過、平成三年度の事業方針について開会の挨拶があり、来賓祝辞の後、推薦により武佐の中司哲雄さんが議長として選任され議事が進められました。



質問をする三友さん

質疑応答の中では、乳質の自主規制に対するご意見、広報誌をもっと活用して組合員に適切な情報を提供するよう、また、組合員はじめ地域住民の健康を守るために、総合病院の誘致にも力を入れてほしいなどのご意見、要望が出されました。

今年の基本方針としては、農協経営収支が厳しくなってきた



中ではあるが経営努力により、乳牛保留資金の利率の引下げ、ファクシミリの助成、酪農ヘルパー基金の造成など、組合員の要望に応じて行くことになりました。また、重点事項としては、次の五項目をかがけ議案第一号から九号まで全議案承認、可決され午後一時五分終了いたしました。

### 重点事項

- 一、営農計画遵守の推進
- 二、ファクシミリの設置による情報の強化
- 三、酪農ヘルパー基金の造成強化
- 四、国民年金基金の推進
- 五、農協財務の強化と経営収支の健全化



# 第19回農協酪農対策協議会総会



う表現で、道、全国大会が終りました。生産者には不満が残った事と思います。

平成三年度は、生乳計画生産を基本としています。乳量については、組合員の生産意向調査書を出してもらい、対応していく事になります。

## 重点目標

- 一、酪農基本政策の確立
  - (一)政策要求
  - (二)輸入抑制および自由化阻止対策
  - (三)農業金融対策
- 二、酪農畜産物価格対策の推進
  - (一)保証乳価格の要求運動・限度枠の拡大
  - (二)肉用牛、乳用種食肉価格の要求運動
- 三、酪農経営改善対策の推進
  - (一)生産コストの低減
  - (二)乳質、乳成分の改善向上
  - (三)生乳生産の環境整備
- 四、牛乳・牛肉消費拡大対策の推進

## 数回の農休日をとろう

清 路正 長 共 南



一度ヘルパーをたのんで家を留守にしてみませんか。思いきって実行すると何かが変わりますよ。心配や不安は誰でも有りますよ。ヘルパー要員も三年目に入り、ある程度実態がわかってきた所ですが、酪農家自体が、十人十色の内容があり、大変なこととは事実です。

ヘルパーを使うために日常の作

業、機械類の調子、乳牛の状態、その他最小必要事項が、家族内でも確認する必要性があり、この事により事故の防止にもなり夫婦、家族間のコミュニケーションができて、また、休みをとることにより作業などの予定をたてるようになるなど、いろいろあるが「他人に搾乳まで任せられない」「三万円も出して休みをとるなら、私にちようだ

い」などといっている人がいたら、一度利用してみてください。一度使ったら毎月ほしくなりますよ。

平成二年度に酪農ヘルパー円滑化促進事業（七十億）が設置され、中標津町も酪農家の休日が必要とし、町、農協で二億円の酪農振興基金が設置され、前向きに検討され進捗しております。平成三年度からは、組合員全戸が対象となり、先に設置されている利用組合規程にしたがい使っていただきたい。また利用組合では事務局を通じて普及啓蒙すると同時に、組合員が利用しやすい方法や料金の検討を行なっていますが、農協も前向きに検討され、基金などについては全て負担しているが、ヘルパー業務の意識の面では、利用組合と農協との歯車がスムーズにかみ合わず、じりじりしているところです。

三名の要員と緊急時の酪農青年ヘルパー要員の稼働が、スムーズに行なわれるためにも、農協理事会が方向付けと考え方を明確にし、全員が確認したうえで、職員と組合員に徹底する事が必要であり、ヘルパー事業が円滑に進み、続く鍵となる事でしょう。

# わが家の人気者!

こいのぼりに  
負けず元気  
いっぱい

武佐地区  
奥村<sup>かのう</sup>協・久恵さんご夫妻  
長男<sup>たかし</sup>敬志くん(2歳)  
次男<sup>さとし</sup>理志くん(7か月)



武佐岳を望み大空を元気に泳いでいるこいのぼりのように、元気一杯大きく育っている敬志君と理志君。お兄ちゃんの敬志君のお気に入りには自動車と飛行機。久恵さんの里帰りに飛行場へ行った時は、大好きな飛行機がいっぱい、おまけにこれから乗るとなれば、それはもう大騒ぎだったとか。

今、何でも覚える時期なのか人の真似をする敬志君。奥村さんの話に「へーエ」とうなずく私を真似て「へーエ」と連発する敬志君



TVに自動車や飛行機が出ると、ごちん人の敬志くん

には皆で大笑い。おじいちゃんも「じいやって、ぼって歩くんだ。いつも最高だよ」と孫達がかわいくってしようがないといった感じ。牛舎へは家族みんなまで出勤。敬志君専用のスコップを持ち、牛舎を走り回り、勢いあまって糞の溜った溝にはまることもしばしば。「敬志は落ち付きがないというかいつも洗たく物をいっぱい作って

が親離れできても、親が子離れできないんじゃないかな」と笑って話してくれました。

ワンパク盛りの敬志君、お兄ちゃんとは正反対でおっとりとした理志君。二人を中心になります賑わう奥村さん一家です。



家族の健康を願って初もうで

くれるの」とワンパクぶりに苦笑するお母さんの久恵さん。遠く大阪から嫁いで来た久恵さんは「子供達がいるとホッとするというか、寂しくないわ。子供

# 農協、農業

## 技術革新の時代へ

将来を築くものは、  
学習であり技術である。

南俵橋 佐々木政行

今の農業をとりまく環境は、極めて厳しい状態である。

ガット・ウルグアイラウンドに端を発する、農産物自由化は果てしなく価格競争を生み出し、食品の安全性、嗜好の変化など多様な消費者ニーズへの対応、不安定な農業政策に対する、農業の将来性に対する不安が、今迄あったでしょ

うか。世界の各地域には、農業の適地から生産されるコストの安い食品がある反面、食料の不足により毎年数十万人もの人達が死んで行く現実もあります。私はこの事実に対し、工業国の中の農業を続けて行く私達にも、多くの困難もあるが全く将来性がないとは言えないと考えています。

特に私達の住む地域の、国内で最も広大な農地を持ち、農業などの汚染度も少なく、畜産と言う循環型の農業形態、指導、普及の高い技術水準、これらを組み合わせ、組織だった農業の経営を今こそ実行に移す時と考えるのです。

例えば、乳牛はそのほとんどが管外へ流出、附加価値をつけて販売されています。また個別の酪農経営者の中には、乳量一、〇〇〇ト以上を目標に経営の設計をしている人達も沢山います。

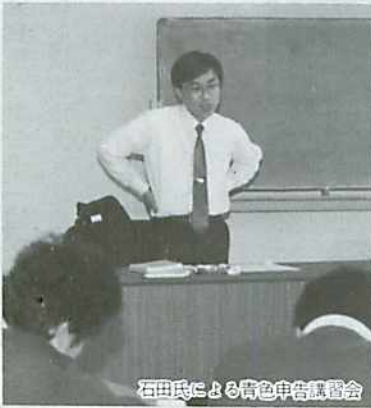
かつて戦後の荒廃、とりわけ食料不足の中から現在の繁栄を築いて来た我々の先輩の時代よりも、農業をする環境はずっと整っています。将来を築くものは、学習で

あり技術であると言えます。また農協がこれら農業をする人達へのサポートを、いかに行なうかが重要となって来ます。技術は実行されなければ何の意味も持ちません。よく聞く話に、農家がさっぱり話を聞いてくれない、聞いても実行してくれない、と嘆きますが、ではなぜそうなるのか、どこに原因があるのか、考えなければいけません。その原因を追求して対策を立てるのです。

### 青色申告会

#### 発足される

平成三年四月二十二日午前十時より中標津町農協会議室に於いて、農業経営の改善を図り、税制に関する知識と理解を高めると共に、適正納税の義務を促進し、会員相



石田氏による青色申告講習会

互の情報の交換を図ることを目的に発足された。この会の会員は、中標津町農協の組合員で、青色申告実践農家及び一般加入希望農家で構成し、

一、青色申告に関する研究と実践  
二、農家簿記に関する研究と実践  
三、農業経営に関する研究と実践  
四、その他目的達成に必要な事項

などを取り進める事とした。

また、午後より中央会中標津支所、石田氏による農業所得税、青色申告講習会を行ない、会長、安田稔、副会長、乾雅春氏と決め、今年度の活動方針を全員の参同を得、実施する事とした。

中標津乳牛改良同志会（土井上昭男会長）第三十一回ブラック&ホワイトショウが、四月二十一日ホクレン根室地区家畜市場において開催されました。

四月は天候が安定せず、当日も肌寒い一日であったが、根室管内では春一番のショウとあって、会



員のみならず関係団体、Jrホルスタインクラブ、他地区より沢山の観客で、間近に迫ったショウ到来

厳しい酪農状勢を活気づける 同志会創立20周年

# 管内春一番のショウ

の前勝戦で、上位入賞を占う意味でも出品者は奮闘し、現在の厳しい酪農状勢を活気付けるにふさわしい内容でした。

審査員には、牛群のレベルアップ、乳質向上など根釧管内でもトップクラスの酪農家である浜中町

浅井氏の的確な審査



の浅井文博氏を迎え、的確、且つスピーディな審査と雄弁な審査講評には定評があり、緊張の雰囲気の内にも盛会に終了しました。チャンピオンは次の出品牛が獲得しました。

ジュニアチャンピオン

タイディホープ クリスチナ  
川村 尊之

シニアチャンピオン

マドキャップ スター ユニーク  
弾正原 正

部等	名号	出品者
1 1	ロックミラー スター ミスティバグ	土井上昭男
2 1	アールチェ タイディホープ クリスチナ	川村 尊之
3 1	メーヤー クリスチナ フィールド	福村 稔
4 1	ウィステリア ローズマリー ハーフ	藤井美智夫
5 1	タイディ ホープ クリスチナ	川村 尊之
6 1	オレーター バリエント マリー	桜井 幸一
7 1	マドキャップ スター ユニーク	弾正原 正
8 1	サウンド バリエント マック	古沢 翠
9 1	オークデール マリナー マスター	横田 光彰
10 1	レスポワール エヌイー ユニーク パロア	阿部 文雄



第4回

# スプリングスクール



去る四月二十一日日曜日、ホクレン畜産市場において第四回スプリングスクールを乳牛改良同志会のご協力を得、第三十一回B&Wシヨウと同時開催致しました。

参加会員は四十三人、一部二部見学後、三部において一般にまじりジャッジングコンテストに挑戦、また、乳牛の見方、リードマンの心得及びジャッジング

グスクールにおいては、B&Wシヨウ審査員の浅井文博氏による、わかり易く楽しい講義により取り進められました。特にリードマンの心得では、会員二人が出て牛を引き、浅井氏の手ほどきにより、その乳牛の特性を引き出すスムーズなリードが出来る様になりました。

また、尾本普及員によるおぼけかばちの作り方について学習し、秋の重量コンテストに向けて会員皆はりきっていました。〈コンテスト結果〉

● 一般の部に挑戦

第一位 満点 安田亜紀子

● ジャッジングスクール&コンテスト

第一位 満点 中司 耕二

青山 智和、金子 雄司



リードマンの説明を受けるジュニア



すっかり定着し、内容も年々充実するバーンミーティグが、乳牛改良同志会主催で、四月十六日俣落共進会場で、同志会々員、関係者約九十人の参加を得て開催されました。

未、経産牛十六頭の供試牛も粒揃いで、順位を付けがたい乳牛が出品され、ツールタイプを想像しながらも、機能的、経済的な乳牛改良を目ざし論議が続きました。

審査講師として、シヨウ、審査実績を持つ中春別酪農家、山田光男氏に依頼。各支部を代表しての順位と講評は年々雄弁さを増し、順位の若干の差による双方の講評は参加者を魅了し、

## 支部に定着した 乳牛審査講習会



審査講師の山田光男氏

年々若い会員が増える中で、バーンミーティグの意味は深く、今後の乳牛改良の基礎知識を取得出来る様な内容を確認し、今後共続けて参りたいと思います。個人成績上位は次の通り

(一一〇点満点)

一位 北川 誠治 一一四点

横田 千秋 一一四点

三位 福島 信博 一一一点

## 中標津支部

中標津支部では、二月二十一日、十日の間、十勝地方の酪農家、人工授精所について視察を行いました。

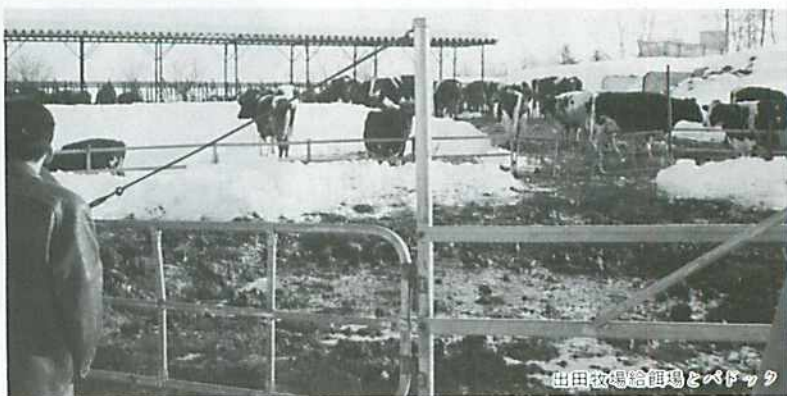


〈出田牧場〉：この牧場は土地五十八ha、乳牛七十二頭、育成牛六十五頭の規模で五二七トンの牛乳を出荷している。牛舎のないのがこの牧場の特徴で、一年中外で放し飼いでいる。成牛から育成牛まで一群飼いで、夏は放牧、冬はサイレージと粕類の給餌となる。施設としては、バンカーサイロ十本、給餌場、D型1、パーラー設備だけであり、トラクターは二台で、そのうち一台は昨年購入したものである。作業機についても必要最少限にとどめ、経費の少ない経営を目指しており、収益率は、借入金七千万円もあるにもかかわらず平成一年、五十二%、平成二年が四十三%となっている。パーラーはアプレスト型八台、ユニット自動離脱付で、古い牛舎を改造して造っている。搾乳は朝八時と晩十時に行なうが、これは、

# 各支部の 視察研修の報告

## 乳牛改良同志会

## 労働力の省力化と経費節減



四十日離乳で、五カ月令より放牧を行ないあまり手をかけない。この様に徹底した省力化、経費節減にもかかわらず、一頭平均出荷乳量八、七〇〇kgと高いのは驚くと共に、ポイントを押さえた酪農経営の大切さ、自分の哲学を持った人の強さを実感した次第である。

〈岩田牧場〉：主人不在で、簡単な話と施設見学しのできなかった。土地は七十三ha、経産牛一一五頭、育成牛一〇〇頭、育成牛については清水町の育成牧場に夏冬預けてある。労働力は三人で、年間八七〇トンの牛乳を出荷している。サイレージはロールパックを通年給餌し、乾草も自由採食

子供との接する時間を多くするため、部落の集まりや役員会の終る時間のために、自然にこの時間帯になった。搾乳時間は、二人で一時間四十分、一人では三時間かかる。繁殖は春から夏にかけての季節分婉で、冬期間は乳頭が凍る事があるため分婉させない。育成は

させている。その他、生パルプ、配合飼料は七、十kgで、繁殖については季節分婉を行なっている。フリーストールを完備し省力化も進んでいる。機械及び施設については、投資を控えている様で、新しいと思われるものはほとんどない。特に搾乳施設については、バ

ーラーはなく、以前から使っていた四十頭規模のバイブライイン式の牛舎で、二、三回牛を入れ換えして搾乳を行っている。

今回視察した出田、岩田両牧場とも、労働力の省力化、経費をあまりかけない経営を目指している点で共通しており、経営に対する考え方は教えられる事が多かった様に思います。

## 俣落支部

去る四月三日から四日にかけて、当同志会では会員十人、関係機関六人計十六人にて、釧路管内酪農家及び乳肉復合経営農家五件を視察研修して参りました。



### 〈海野牧場〉浜中町

低コストのパーラー及びフリーストール牛舎、二年前に約二千万円で建設、成牛三十八頭を二群に分けTMRにより給飼し、三百五十トを出荷している。

### 〈浅井牧場〉浜中町

牛体、牛舎内の清潔さに関心させられた。浜中町において体細胞数は集荷ごとに測定されるが、この牧場はほとんど十以下であり、乳房炎の牛もしばらく出ていないという。また、高齢牛が何頭もあるにもかかわらず、この様な成績が出せるのは牛の状態が良いと言ふ事であろう。牛群の改良には、かなりの自信を持っている様である。

### 〈菊池共同牧場〉阿寒町

#### 乳肉復合経営

出荷乳量二五〇t、一頭平均八、〇〇〇kg

褐毛和種七十二頭を飼養し、繁殖及び肥育を行っている。二十四か月肥育し、七〇〇〜七五〇kgで出荷、去年は二十数頭出荷し、一頭平均約七十五万円になったそうである。

## 現状を把握し地道な成果



在搾乳牛一五十頭で、三回搾乳を実施している。将来は三〇〇頭搾乳を目指している。

### 〈植田牧場〉鶴居村

この牧場は今回前回とも全日本ホルスタイン共進会の最高位の牛を産出しており、乳牛の資質改良に積極的に取り組み、個体管理を徹底して行なって来た牧場である。

〈共栄農場〉鶴居村  
昭和三十九年より共同経営を行なっており、昨年の十一月にフリーストール牛舎及びパーラー施設が完成し、従業員十一人により現

良質乳の出荷を基本とし、現在こ  
うすればよいと言ふ事を地道に実施し、成果を上げているという事です。我々も負けてはならないと痛感しました。

以上、釧路管内の様々な経営を視察して来まして感じた事は、将来に対する対策、とくに地域間競争にま  
ず打ち勝つために

# 支部活動の活性化と 組織連体感の充実へ



第四十三回、農協青年部通常総会が四月十三日、農協大会議室において開催されました。

開催に先立ち西崎部長が、平成二年度は自由化という大波に揺り動かされ、農業状況がさらに厳しさを増した年であったが、部員相互の理解と協力によって、青年部事業がスムーズに運営できた事に

対しお礼を述べた後、来賓の方からのご祝辞を頂き、当幌支部の吉田正行さんを議長に、議案が進行されました。

## 〈議案〉

第一号 平成二年度、事業報告並びに収支決算について。

第二号 平成三年度、事業計画並びに収支予算の設定について。

第三号 会費の設定と徴収方法について。

第四号 規約の一部変更について。  
顧問役員の設定。

全件原案通り承認されました。

平成三年度事業実施にあたり、青年部員としての自覚を持ち、支部活動の活性化を図り、部員相互の理解と協力によって、青年部活動が運営される事を確認し、総会

が閉会されました。

総会終了後、農協屋上において、部員の親睦、交流を深める事を目的に焼肉パーティーが行なわれました。

## 〈平成三年度役員〉

- |                |             |
|----------------|-------------|
| 部長             | 金子 安一(依橋)   |
| 副部長            | 佐藤 敏(中標津)   |
| 会計             | 笠原 康博(俣落)   |
| 監事             | 杉本 和玄(第二俣落) |
| 幹事             | 山田 昇(当幌)    |
| 幹事             | 赤堀 将仁(開陽)   |
| 幹事             | 上ヶ島利春(俣落)   |
| 幹事             | 田中 世一(武佐)   |
| 幹事             | 小川 征彦(中標津)  |
| 幹事             | 山下 真二(依橋)   |
| 支部長            | 片岡 一志(第二俣落) |
| 支部長            | 竹村 聡(当幌)    |
| 支部長            | 太田 孝(依橋)    |
| 支部長            | 山崎 幸雄(俣落)   |
| 支部長            | 房川 喜洋(第二俣落) |
| 支部長            | 齊藤 和広(開陽)   |
| 支部長            | 安達 政宏(武佐)   |
| 支部長            | 佐藤 慎一(中標津)  |
| 畑作部会長          | 大内 勝利(武佐)   |
| コンピューター経営研究会会長 | 岡部 達也(中標津)  |



# 理事会

## の経過

### 第一回理事会

開催月日 四月十六日

開催場所 農協中会議室

#### 〈議案〉

一、第四十四回通常総会開催日程と提出議案について

二、乳牛保留資金融資要領の一部改定について

三、平成三年度澱粉原料用いも類用途転換促進対策事業について

四、リース車輛の更新について

五、固定資産の取得について  
以上審議され決まりました。

〈協議事項〉  
一、総会議案の説明会の日程について

二、総会前の役員協議会開催日程について

三、管理人室及び電算室の改装について

四、重点指導農家について  
〈報告事項〉

一、平成二年度の生乳生産状況について

#### 採用者紹介

二、職員の退職と新採用について



4月1日  
管理部管理電算課付  
裏地勝信



4月1日  
管理部管理電算課付  
安斉雅幸



4月1日  
管理部管理電算係  
安達佳子

第三十八回農協婦人部通常総会が、四月四日農協大会議室において開催されました。

新年度は、忙しい中にも余暇を見出し、農休日の設定など生活時間改善の推進を図りましょう。他団体との交流会を積極的に実施しましょう。また、国民年金基金への加入推進など、新たな活動方針も生まれ、全件原案通り承認されました。

#### 〈議案〉

第一号 平成二年度、事業報告並びに収支決算について

第二号 平成三年度、事業計画並びに収支予算について。

第三号 会費の賦課徴収方法について。

平成三年度、役員は次のとおりです。

### 第38回 農協婦人部 通常総会

## 新たな活動方針をとり入れ さらに活発化へ



りです。

部長 笠原嬉代美(俣落)

副部長 横田 純子(第二俣落)

舟田 仁子(当幌)

会 計 俊枝(武佐)

監 事 中司 輝子(武佐)

小原 則子(当幌)

# 暮らしの

## 知恵袋

北根室地区  
農業改良普及所

近年、無農薬や有機栽培の野菜を作り、食卓に活用して、健康づくりと中広くかされています。

主要野菜の栽培技術の要点について、育苗から定植、定植後の管理技術について述べますので参考にして下さい。

### 一、かぼちやの育苗と定植

かぼちやは、作型に応じた育苗を進めることが大事なことです。

育苗前期（本葉二葉まで）は順調に生育させ、以後は低温育苗を行ない、花芽分化を促進させます。雌花は低温、短日、栄養十分な条件で促進されます。育苗期間は三十日間で本葉三、五、四、〇葉の苗に仕上げます。

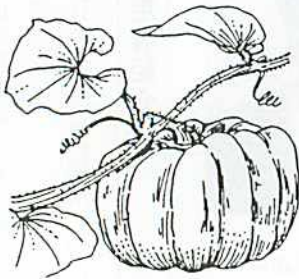
定植五日前より順化を行ないま

す。仕立方も色々あるが、子する三本仕立ては、定植三日前に摘芯作業を行なって、親づるの二節



自家野菜を上手に  
作りましょう

三節、四節のわき芽を残すようにする。親づると子づる二本仕立もあるの、その時は、摘芯をせず



定植畑は、排水および通気性が良い耕土の深い砂壤土および壤土が望ましい。施肥は（二表）に示しますが、特に窒素過多にならないように施用します。基肥は六十

%をマルチ幅に施用し、追肥は窒素、カリ、四〇%を着果後に施用します。定植七日前にマルチをして、地温を十五度C前後に高めて

活着を促進します。風の少ない温暖な日に定植します。定植後の管理としては、作型（一表）により異なりませんが、トンネル栽培では、

三十度Cを大きく越えないように穴開け換気をします。定植後四五週目ころの、風の少ない雲天時にフィルムを除去します。整枝は

一番果が着生する位置までの側枝を早めに除去します。適果は、低節位（八節以下）の着果は、小果や変形果になりやすいので早めに摘除して下さい。

### 二、だいこんの高品質栽培

だいこんは、アブラナ科の作物で連作は避ける必要があります。

特に土壤病害である萎黄病や亀裂褐変病が多発するため、必ず四〜五年輪作を励行します。そのほ

か、高土壌PH圃場への作付けは微量要素欠乏が懸念されます。FTE入り肥料を用いるなどの対策が必要です。だいこんは、排水対策は十分に行ない、根の生育促進と軟腐病の被害を軽減するよう努めましょう。

最近、だいこんの品種改良により、春まきから晩夏まきまで幅広い品種があるので、時期に応じて選んで栽培しましょう。だいこんは、抽苔させると商品価値がありません。抽苔の主な原因は、発芽

した当初から低温感応するので、本葉五〜六葉まで低温には注意して、保温被覆材（バオバオなど）を使用する技術も普及しています。更にビニールマルチ栽培についても併用して、高品質栽培も定着しています。詳しくは普及所に相談して下さい。

最後にだいこんの作業体系と栽培技術を（三表、四表）にまとめましたので参考にして下さい。病害虫防除について（五表）に示してありますので、最少限度の薬剤を使用して下さい。

最後にだいこんの作業体系と栽培技術を（三表、四表）にまとめましたので参考にして下さい。病害虫防除について（五表）に示してありますので、最少限度の薬剤を使用して下さい。

表-1 栽植概要

作 型	トンネル	マルチキャップ	露 地
播 種 期	4月10~20日	4月25~30日	5月1~5日
育 苗 日 数	30日	30日	30日
定 植 期	5月10~20日	5月25~30日	6月1~5日
収 穫 始 め	7月25日以降	8月5日以降	8月10日以降
目 標 取 量	3 t	3 t	3 t
品 種	み や こ	え び す	え び す
播種量 (10a当たり)	5 dl	3 dl	3 dl
栽 植 距 離	270×40cm	300×90cm	300×90cm
株 数 (10a当たり)	930	370	370
整 技 法	親づる 1本仕立て	子づる 3本仕立て	親づると子づる 2本仕立て

表-2 施肥基準 (kg/10a)

成分 土質	堆肥	窒素	リン酸	カリ
	沖積土	3 t	8	10
火山性土	3 t	10	15	12

留意事項

基肥は60%マルチ幅に施用  
追肥は窒素、カリ40%着果後施用

表-3 作型と作業体系

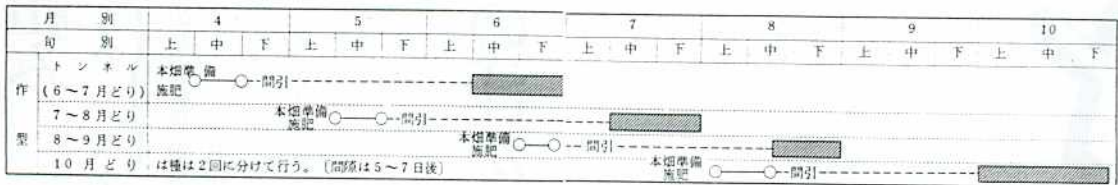


表-4 作業体系と栽培技術

作 業 名	作 業 適 期	ボ イ ン ト
石灰質資材 および堆肥散布	前 年 秋	○冬季降水量の多い地帯では、石灰質資材の散布時期を早春とします。 ○堆肥は完熟堆肥とし、異状根の発生を防ぎましょう。
施 肥	基 肥……播種7日前後 追 肥……播種30日後	○標準量は10a当たり窒素8~10kg、リン酸8~10kg、カリ7~8kgとし、地力や作型により加減します。
播 種	随 時	○普通種子の場合4dl/10aの種子が必要となります。 ○シーグテープ使用の場合、3粒入れとします。
間 引 き	1回目……播種7~10日後 (子葉展開時) 2回目……播種20日後 (本葉4枚時)	○1回目の間引きでは、子葉が奇形となっているものを抜き取ります。 ○間引き後は手で軽く土を押さえるか、除草ホーによる土寄せをします。
病 害 虫 防 除	キスジトビハムシ、ダイコンバエ……播種時	○エチメトン粒剤をまき溝施用します。 ○まき溝施用と土壌全面混和の併用は効果的です。
	ヨトウガ、コナガ、モンシロチョウ……発生時	○若齢幼虫を徹底防除します。
	軟腐病……6/下旬~9/上旬	○高温と高土壌水分で多発する。
収 穫	播種55~60日後 (夏秋どりの場合)	○過熟を避け適期に収穫しましょう。 ○病害や生理障害のあるものは圃場でチェックし、搬出します。

表-5 主な病害虫と薬剤

病 害 虫 名	農 薬 名	散布量 g・cc/10坪	注 意 事 項
キスジノミハムシ	エチメトン粒剤	播溝施用 200g	両害虫に効果あり
ダイコンバン			
ア オ ム シ	ディブテレックス乳剤	薬剤散布10cc/水10ℓ	早期予防
ヨ ト ウ ガ	オルトラン水和剤	" 10g/水10ℓ	
軟 腐 病	総合防除	—	4~5年輪作、害虫予防の徹底

# 積極的に学習に取り組み

## 経営に生かしてほしい。

乳質改善と仔牛の哺育育成勉強会

4月18日

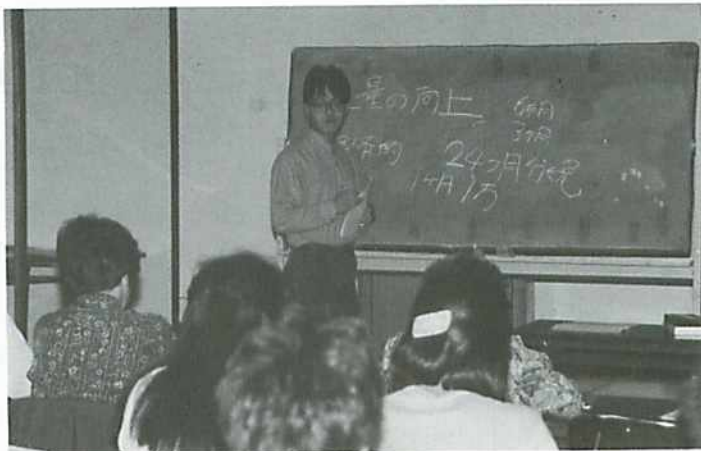
若妻部員の要望により企画された、乳質改善と仔牛の哺育育成勉強会が、三十三人の参加のもと農協大会議室において開催されました。

まず午前中実施された乳質改善

# みんなの汗が結ぶ、地域交流と活性化。

講習会では、農協酪農販売課、新井係長に、平成三年度保証乳価格の決定内容から、正しい搾乳の仕方などをお話していただきました。

また、午後からは、北根室地区農業改良普及所の大島普及員による、仔牛の哺育育成勉強会を行ないました。仔牛のゲリやカゼの予防と、対策やカーフハッチの有効利用など、参加者はみな真剣に学習していました。



第二回依橋ふるさとの会ミニバレーボール大会が、依橋小学校体育館で開催。「依橋ふるさとの会」とは、地域の交流と活性化を目指した依橋地域みんなの会。

午後七時三十分、農作業を終えた家族約六十人が体育館に集い、小学生を含む四人一組十チームによる、地区優勝を目指した熱戦が

繰り広げられました。試合に参加しない観戦組も、伯仲した試合に



4月27日

は、「そこだ、スパイク、ブロック」などと、選手と一体になった応援の一幕もあり、地域みんなが楽しく汗を流し、交流を深めておりました。試合結果は、南依橋第一が優勝持ち回りの特大カップが授与されました。



今月の  
フォト

# アイルズ

## 笑いは、健康のもと!

中標津落語を聴く会主催のなかしべつ寄席第三弾、「真打共演会」がホテル秀月で開催されました。

今回は入船亭扇遊師

匠の「人形買」と「花見の仇討ち」柳家治師匠の「松竹梅」「そば清」が披露され、身ぶり手ぶりの巧みな話に、会場のファンもぐいぐい引き込まれ、終

始笑いがたえませんでした。

4月24日



明日のなかしべつ



望ましいのか話し合われました。パネルディスカッションでは、

地域に関連の深い四人により、「農業の大切さ」、「環境問題を考える原点に」、「町づくりは開陽台と一体に」、「地域の人も訪れやすい施設整備を」など、さまざまな角度から話されました。

その後、参加された約百八十人の方が十数テーブルに分れ、テーブルディスカッションを行ない

## みんなで考えよう

## 明日の開陽台、明日の中標津

4月25日

中標津の観光地、開陽台と中標津町開発を考えようと、「開陽台シンポジウム」(同実行委員会主催)が、ホテル秀月で開催されました。

中標津空港のジェット化による本州観光客の増加や、さまざまなリゾート開発構想がある中で、町民みんなで考え、明日の開陽台、明日のなかしべつはどんな方向が

地域づくり、町づくりのイメージなど、自由な発想意見が話し合われました。



# 品評会と共進会日程のお知らせ

四月二十三日、農協酪対畜牛品評会代表者打合わせ会議において、地区品評会及び、中標津町農協ホルスタイン共進会の日程が決まりました。

- 第四十二回俣落地区畜牛品評会  
開催日 五月二十八日(火)午前十時  
開催場所 俣落畜牛品評会場
- 第二十二回武佐地区畜牛品評会  
開催日 六月一日(土)午前十時  
開催場所 武佐畜牛品評会場
- 第二十四回第二俣落地区畜牛品評会  
開催日 六月一日(土)午前十時  
開催場所 第二俣落畜牛品評会場
- 第二十二回当幌地区畜牛品評会  
開催日 六月十一日(火)

開催日 六月二日(日)午前十時  
開催場所 当幌畜牛品評会場  
第二十二回中標津地区畜牛品評会  
開催日 六月二日(日)午前十時  
開催場所 ホクレン根室地区家畜市場

- 第二十二回俣橋地区畜牛品評会  
開催日 六月三日(月)午前十時  
開催場所 俣橋畜牛品評会場
- 第三十九回開陽地区畜牛品評会  
開催日 六月三日(月)午前十時  
開催場所 開陽畜牛品評会場
- 中標津町農協第二十二回ホルスタイン共進会・第三回種馬共進会  
開催日 六月十一日(火)

午前九時十五分開会式  
開催場所 ホクレン根室地区家畜市場  
平成三年根室ホルスタイン共進会  
開催日 八月九日(金)  
午前九時  
開催場所 ホクレン根室地区家畜市場

- 平成三年北海道ホルスタイン共進会  
開催日 九月六日～八日  
開催場所 北海道ホルスタイン共進会場  
(早来町)



## 4月の組合日誌

- 4日 第38回農協婦人部通常総会
- 8日 馬鈴しょ耕作者全体会議
- 8日 青年部畑作部会定期総会
- 11日 俣橋地区小麦生産組合定期総会
- 13日 第43回農協青年部通常総会
- 15日 酪農ヘルパー利用組合総会
- 16日 第1回理事会
- 17日～20日 決算監査
- 22日 青色申告講習会
- 23日 平成3年度共進会打合せ会議
- 25日 乳検組合通常総会
- 25日 酪対通常総会
- 26日 地区別懇談会及びファクシミリ説明会  
(当幌、開陽、俣落、俣橋)
- 27日 地区別懇談会及びファクシミリ説明会  
(中標津、武佐、西竹 第2俣落)

## 編集後記

春の遅い道東にも桜の花が咲く時期を迎え、馬鈴しょの蒔き付、ビート移植、草地の施肥など春の農作業がスタートしましたが、最近農作業による事故が多発しております。

先月の新聞にも宗谷管内で、トラクターの運転ミスによる転落事故があり、経営主が死亡するという記事が載っております。自動車の交通安全はもちろんの事ですが、農作業も事故の起こらない様、充分気を付けていただきたいと思ひます。

農協も総会が終わり新年度事業のスタートを切りましたが、今年の総会で、広報誌を活用して組合員の意見や、情報を沢山提供してほしいとの意見が出されました。広報誌を担当している私にとつては多少シヨックもありましたが、その反面、広報誌を読んでいた方が、その活力となった気がしております。今後は、組合員皆様の意見や情報を今まで以上に掲載できるよう取材、編集と努力してまいりますのでよろしくお願ひ致します。